

平成21年10月15日

埼玉県地域共同リポジトリ実務研修会

埼玉県地域共同リポジトリ
(SUCRA) への参加をとおして
—城西大学の事例—

城西大学水田記念図書館

若生政江

本日のお話

- 1. 城西大学の概要
- 2. 水田記念図書館の概要
- 3. SUCRA概要
- 4. SUCRA参加までの経緯
- 5. 学内委員会設置の経緯
- 6. 機関リポジトリ理解のために
- 7. 最後に

城西大学の概要

- 所在：埼玉県坂戸市けやき台
- 1965年（昭和40）4月2学部で開学
（経済学部経済学科 理学部数学科・化学科）
- 創立者： 水田三喜男
- 建学の精神：「学問による人間形成」
- 5学部、大学院4研究科、短大、別科
- 社会系と自然系を併せ持つ
- 学生数 約8,200名
- 同一法人

城西国際大学（千葉県東金市）

東京紀尾井町キャンパス

詳細は <http://www.josai.ac.jp>

城西大学の概要（学部構成）

- 経済学部
 - 経済学科
- 経営学部
 - マネジメント総合学科
- 現代政策学部
 - 社会経済システム学科
- 理学部
 - 数学科・化学科
- 薬学部
 - 薬学科・薬科学科
 - 医療栄養学科
- 短期大学
 - ビジネス総合学科
- 別科
 - 日本文化専修課程
 - 日本語専修課程
- 経済学研究科
 - 経済政策専攻
- 経営学研究科
 - ビジネス・イノベーション専攻
- 理学研究科
 - 数学専攻
 - 物質科学専攻
- 薬学研究科
 - 薬学専攻
 - 医療薬学専攻
 - 医療栄養学専攻

水田記念図書館の概要

- 蔵書数 約408,000冊
- 雑誌所蔵タイトル数 約5,300誌
- 電子ジャーナル契約 約7,100誌
- データベース契約 19点
- 電子ジャーナル・データベース 7,600万円
- 開館日数 339日（日曜開館）
- 閉館時間：平日は21時まで閉館
- 入館者延べ数 238,829人
- 館外貸出数 18,745冊
- 専任職員 2名
- 委託スタッフ 13名
- <http://libopac.josai.ac.jp/>

SUCRA



学術情報発信システムSUCRA (さくら) (Saitama United Cyber Repository of Academic Resources)

- <http://sucra.saitama-u.ac.jp/>
- 埼玉県の地域共同リポジトリ
- 埼玉大学のサーバーを無償で利用
- システム管理および技術指導も埼玉大学
- H20.11文教大学参加、H21.1城西大学参加
- 登録数 埼玉大 (3,354件) 文教大(147件) 城西大 (854件)

SUCRA参加までの経緯

- 2008.4.26 新入教員向けガイダンス（セルフアーカイブ）
- 2008.6.6 執行部会議にて機関リポジトリについて説明
- 2008.9.29 SALAと埼玉大学連名による学長宛文書
「図書館埼玉県地域共同リポジトリ形成事業の実施について（依頼）」
「図書館埼玉県地域共同リポジトリ形成事業実施に関する事前調査」
→学長より事前調査に「参加する方向で回答」との指示
- 2008.12.3 国立情報学研究所CiNiiへ本学登録データの提供依頼
- 2008.12.6 CiNii登録データ受領（約1,300件）
- 2009.1 SUCRAへ登録開始

学内委員会設置の経緯

- 2009.2.26 執行部会議に「機関リポジトリ構築について」資料提出
*全学委員会設置のお願い
- 2009.4 平成21年度新規予算交付
- 2009.5.15 図書館合同（運営・選書）委員会において各学部代表委員による委員会設置を検討
- 2009.5.22 執行部会議において館長説明
- 2009.5.29 各学部長宛に準備委員会委員の推薦を文書で依頼
- 2009.6.3 大学評価データベースとの連携について学長決裁
- 2009.6.26 委員への辞令交付、第1回委員会
- 2009.7.24 第2回委員会
- 2009.9.25 第3回委員会 管理運営規程（案）採決

準備委員会の目的

1. コンテンツの内容、収集方針、
運用指針など管理運営規則の策定
2. 推進体制の整備
3. 大学評価データベースとの連携
4. SUCRAとの関係
5. 広報・普及活動
6. 機関リポジトリの名称

コンテンツ収集方法

- 大学評価データベースとの連携
- 紀要等の著作権について
 - 投稿規程などに明示
 - 印刷版・電子版ともに明示
- 学外発表論文の収集
 - 学長所管での研究成果提出時→PDF添付
 - 大手出版者は著者版を許可→著者版保存
- 学位論文
 - 提出時に許諾を取る e t c

大学執行部会議での説明資料（抜粋）

機関リポジトリ

城西大学の学術情報
保存と社会還元のために

水田記念図書館

機関リポジトリ理解のために

1. 学術情報とは

- 学術情報は、研究者にとって研究する上での根幹であり必須なもの
- 研究成果を公表し多くの人に読んでもらい、それを共有する
- 学術情報は学術雑誌に公刊されてフォーマルになる

機関リポジトリ理解のために

2. 学術情報の流れ

- 学協会や商業出版社は、査読し学術情報を評価し、学術雑誌として質を保つ
- 図書館は、印刷版を半永久的に保存する保管の役目を担ってきた
- 学術雑誌としてフォーマルになりそれを図書館が買う
- お金を出す大学が支えてきた

機関りポジトリ理解のために

3. 電子ジャーナルの出現

- 研究者にとって紙が電子になっただけで、プリントアウトして読む
- 電子ジャーナルへのアクセスは雑誌（物）の購入ではなく、アクセス権の購入である
- アクセスは許可された人のみ

機関リポジトリ理解のために

4. 電子ジャーナルの問題

- モノが無い、情報そのものを保存していない → 半永久的な保存は？
- 電子ジャーナルになっても価格は上がる → 購読費は？



- オープンアクセス誌の出現
- 機関リポジトリの出現

機関リポジトリ理解のために

5. 大学にとっての意義

- 大学資源の社会還元
- 大学のアイデンティティの確立
- 教育・研究の社会的説明責任
- 研究者の知名度向上
- 大学の研究成果の永久保存

機関リポジトリ理解のために

6. 研究者にとって

- 研究成果の管理、発信、保存を一元管理

→ 経費節減

- 研究成果の視認性向上
- 研究者の知名度向上 → 産学連携
- 業績一覧などを随時出力

機関リポジトリ理解のために

7. 図書館の考え

- 今までの図書・雑誌のように電子資料も保存する役目がある
- 商業出版社の電子ジャーナルもオープンアクセス誌もWeb情報も
- 城西大学の研究成果は、全て城西大学で保存 ← 大学でするしかない



- 機関リポジトリの構築を考えよう

機関リポジトリ理解のために

8. 著作権の背景

- 大手出版社は、著者最終稿（acceptされることになった最終確定稿）をリポジトリ公開することを許諾

Elsevier、Springer、Nature、
Wiley-Blackwell、. . .



研究者によるセルフアーカイブ
(収集には早いほうが良い)

城西大学版 機関リポジトリ (案)

城西大学の機関リポジトリを構築するにあたって

機関リポジトリとは、大学で生産された研究成果、教育成果を電子的に保存し、無償で発信するインターネット上の保存書庫です。

学術雑誌掲載論文、紀要論文、科研費成果報告書、学位論文、研究発表プレゼン資料など、学内の成果を電子的に保存し、社会に公表することで、大学の説明責任を果たします。

機関リポジトリの立ち上げには、全学をあげた組織的な取り組みが必要です。なぜなら保存するのは城西大学の研究・教育成果なのです。

規程・規則の作成、収集方針や運用指針が必要です。
大学評価データベースとの連携も考えます。

各学部代表による全学委員会の設置をご検討いただきますようお願いいたします。

最後に

SUCRAに参加してよかった点

- コストが不要
 - システム管理が不要
 - 何でも教えてもらえる
 - 共同作成による仲間意識
 - 埼玉県の地域性に特化したりポジトリ
- 埼玉県にある大学・短大は是非参加を
ユーザー会設置も良いのでは。